

市川の人物を調べるには…

(市川市ってどんな街？ 8)



インターネットが普及している現在、パソコンやスマートフォンなどで人を探すのは比較的簡単ですが、ある程度の肩書があっても、古い時代の一地方の人を探すのは大変です。長い間には、戦災や天災等で資料の消失もあったでしょう。市川市でも歴史の中に埋もれて、詳細が分からない人がたくさんいると思います。

ご自分のルーツを探したい方、昔の人々に興味をお持ちの方のために、図書館ではさまざまな人物を調査する資料を用意しています。



市川市の図書館では、地域資料の「人」に関する資料を「C8」として分類しています。

本の背に右のような青いラベルが貼ってあります。

I
C8

市川市の人

C10
C8

千葉県の人

1. 基本的な資料でさがす
2. 年代からさがす
3. 特定の分野でさがす

掲載した資料は、すべて中央図書館所蔵です。

【 】は分類で所蔵場所を指しています。

1. 基本的な資料でさがす

『市川ひと事典』(エピック 1991-2004) 【I/C8】

1991年に「'92版」として初版が発行されてから、第4版(2004)まで刊行されています。'92版は、「市川で初めてまとめたひと事典」として、市川に関わりのある方が略歴とともに五十音順に掲載されています。第2版(1993)は、公共篇、産業篇、文芸・芸術篇、評論・研究・地域活動篇、公演・スポーツ篇とジャンル分けして紹介されていますが、五十音順の総索引があります。第3版(1995)、第4版(2004)は、五十音順の掲載です。

『千葉大百科事典』(千葉日報社 1982) 【C10/A3】

あらゆる分野にわたる情報を網羅した千葉県の百科事典です。千葉県に関係する人物も多数収録されています。また、巻末には、見出しの全項目のほか、文中の重要語も配列した総合索引があります。

『郷土歴史人物事典 千葉』高橋在久／編著(第一法規 1980) 【C10/C8】

第一部「古代～江戸」、第二部「明治～昭和」の歴史的人物、第三部「郷土の人物100人」が掲載されています。人名索引があります。

『千葉県紳士名鑑』(千葉日報社 1975, 1979) 【C10/C8】※一部書庫

初版が1975年、第2版が1979年に刊行されました。千葉県にゆかりの方を各界にわたって広く網羅しています。人名索引があります。

『千葉県女性人名辞典』新羅愛子／著（青史社 1984）【C10/C8】

古代から現代までの房総の女性を対象とした人名辞典です。千葉県出身者、在住者、在職者及び関係者が収録されています。巻末に索引があります。

『資料の広場 No. 16～18 千葉県十二郡誌人名索引(稿)』千葉県立中央図書館／編集（千葉県立中央図書館 1984-1986）【C10/C8/1～3】

明治から大正初期にかけて千葉県内で発行された全12の郡誌（安房郡誌、夷隅郡誌、匝瑳郡誌、市原郡誌、印旛郡誌、海上郡誌、香取郡誌、君津郡誌、山武郡誌、千葉郡誌、東葛飾郡誌、長生郡誌）に掲載された人名を検索できます。

★WEB「千葉県立図書館菜の花ライブラリー」<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/nanohana/>（2026.3 確認）

「千葉県関係人名索引」として、上記の十二郡誌人名索引のほか、東総地域人名索引、長生郡市人名索引、各市町村史人名索引をまとめて検索できる総合人名索引データベースがあります。

『市政概要』（市川市議会事務局）【I/F1】

毎年刊行されている『市政概要』には、歴代市長・副市長、市川市名誉市民、市川市特別名誉市民のほか、市川市議会議員名簿、市議会歴代正・副議長の一覧表の掲載があります。

『市川市史年表』（市川市 1977）【I/B1】

市川市域における原始古代から昭和49（1974）年11月3日までの歴史事項を収録し、多数の人名が収録されています。

2. 年代からさがす

『戦国房総人名辞典』千野原靖方／編著（崙書房出版 2009）【C10/C8】

安房・上総・下総3国における戦国時代の人名辞典です。収録された人名は1,700項目に及びます。

『都道府県別資産家地主総覧 千葉編1・2』渋谷隆一／編（日本図書センター 1988）【C10/C8/1-2】

資産家・地主名簿のうち、特に重要と思われるものを編集、収録しています。収録範囲は、おおよそ明治維新以降第二次大戦終了時まで。資料2には、3ページ掲載の『（複製）北総区民名誉必携 東葛飾郡』（常陽館 1896）、資料3,4には、同じく3ページ掲載の『房総紳士録』（多田屋支店 1912, 多田屋書店 1922）の複製も収録されています。

『郡治要覧』（東葛飾郡役所 1923）【書庫】

p. 71～「第四章 置郡以来の郡長及町村長」の項があり、明治11（1878）年郡区町村編制法の置郡以来の歴代郡長と町村長（大正11年調）の氏名が掲載されています。また、p. 79～「第五章 郡會」では、「旧制に依る定員及び選挙区」と、各選挙区選出議員の氏名が掲載されています。

『市川市史 第3巻 近代』（市川市 1975）【I/B1/3】

p. 330～332に明治22（1889）年町村制実施以後から大正期までの町村長の記載があります。（ただし、完全ではありません。）

『(複製) 北総区民名誉必携 東葛飾郡』(常陽館 1896)【I/C8】

国立国会図書館デジタルコレクションから『北総区民名誉必携』の「東葛飾郡」だけを抜粋し、複製したものです。掲載人数は多くありませんが、町村別に、実業家等の氏名や誕生日、地租金（納税額）が記載されています。

★WEB「国立国会図書館デジタルコレクション」<https://dl.ndl.go.jp/pid/780220> (2026.3 確認)で閲覧できます。

『房総人名辞書』(国書刊行会 1987)【C10/C8】

明治 42 (1909) 年に刊行された千葉毎日新聞社編『房総人名辞書』の復刻版です。明治 41 (1908) 年 7 月現在千葉県に活躍した各方面にわたる約 8,500 人を収録しており、巻末に人名索引が付いています。

★WEB「国立国会図書館デジタルコレクション」<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/780219> (2026.3 確認)では、1909 年刊行の『房総人名辞書』が閲覧可能です。

『房総紳士録』(多田屋支店 1908, 多田屋書店 1912, 1915, 1922)【書庫】

県内納税者（衆議院選挙名簿）から作成されています。郡・町村名の順番でまとめられており、氏名と納税額が記載されています。索引はありません。(1908 年は明治 40 年末、1912 年は明治 44 年末、1915 年は大正 3 年末、1922 年は大正 10 年末の衆議院選挙名簿です。)

『房総町村と人物』(多田屋書店 1918)【書庫】

大正 7 (1918) 年当時の房総の 72 の町、256 の村について、「総説」「沿革」「区割」「役場」「学校」「各種団体」「産業」「交通」「神社」「仏閣」「名所旧跡」の 11 項目で解説しています。また、町村の興隆や模範人物 7 千人を網羅してあります。この資料が出版された当時まだ市川市はなく、東葛飾郡の中に現在の市川市の町村があります。人名索引（イロハ順）もあります。

★WEB「千葉県立図書館菜の花ライブラリー」<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/nanohana/> (2026.3 確認)で閲覧できます。

『千葉縣歴史 全』渡邊雅重／編輯(千葉縣歴史刊行會 1929)【書庫】

「第四編 偉人傳」のほか、後半が「千葉縣歴史人物編」として、716 ページにわたり一人 1 ページ人物が紹介されています。人物名索引があります。

『市川市勢総攬』(市川市勢調査会 1934)【書庫】

市川町・八幡町・中山町、国分村との合併による市川市制施行の記念として刊行されました。後半には、「人物篇」として市内在住の 292 名の著名人が本籍地や経歴とともに紹介されています。索引もあります。また、p. 339-347 に市制施行前各町村職員氏名（歴代町村長、町会議員）などの掲載もあります。

★WEB「国立国会図書館デジタルコレクション」<https://dl.ndl.go.jp/pid/1464005> (2026.3 確認)で閲覧できます。

『軍士鑑 千葉縣第二版 第卅二版』(帝國軍士鑑刊行會 1935)【書庫】

市郡別の写真入り軍人名簿です。市川市は「東葛飾郡ノ部」に掲載されています。

『千葉縣紳士名鑑 [昭和 15 年]』木村義治／[編](千葉縣紳士名鑑刊行會 1940)【書庫】

最初に市、次に郡内各町村の順番で編集されており、市川市は行徳町と南行徳町が合併前なので、「市川市」と「東葛飾郡」の「行徳町」「南行徳村」に掲載されています。氏名・職業・納税額の掲載です。

『(複製) 人物と事業 千葉縣版』 小黒彦二郎／編 (帝国探報社 1942) 【C10/C8】

国立国会図書館デジタルコレクションから複製したものです。県内市町村の主要人物の略歴、年齢、家歴、家族等が、氏名のイロハ順に掲載されています。

★WEB「国立国会図書館デジタルコレクション」<https://dl.ndl.go.jp/pid/1033090> (2026.3 確認)で閲覧できます。

『市川市史 第7巻 史料 近代・現代・文化』 (市川市 1974) 【I/B1/7】

市川市史の史料として、主に村方文書、市川市内に現存する市川市関係の文書、市役所所蔵の公的記録や文書、民間文書、船橋漁業協同組合所蔵文書等から編纂されており、人名も多数掲載されています。

『千葉県人事名鑑』 (千葉県読賣会 1948) 【書庫】

刊行の辞には、「郷土再建の根幹をなす人的資源を網羅し」とあります。郡市別のため、「市川市」と「東葛飾郡」に掲載されています。索引もあります。

『房總紳士録』 (房總興信所 1949, 1952, 1961) 【書庫】

1949年刊は、昭和24年当時の房總の7市12郡の全域にわたって、公私ともに活躍している人物を五十音順に掲載しています。出身・生年・職業などがコンパクトにまとめられています。1952年刊は、1949年刊の第二版です。(刊行の辞に「第一版刊行直後より精査した資料を編集し」とあります。) 1961年刊は第五版で、調査収録の範囲は、千葉県下所在の官公署・会社・団体等に勤務するもののうち役職のつくもの、公職をもつものなど広く各界層の人士を対象としています。

『千葉県人國記 前篇』 藤田真／編 (紫雲洞 1956) 【書庫】

各市、郡毎に人物をまとめてあり、市川市にあたる部分は「市川船橋の巻」です。著者は書きもらしがあるので「後篇」に収めたいと記していましたが、残念ながら後篇は発行されなかったようです。

『千葉県総合要覧千葉県紳士録』 吉川洋一／編著 (日本風景社出版部 1957) 【書庫】

市町村合併が進み、1957年の時点では、8市79町223村から17市70町17村になりました。p. 152から「千葉県出身者紳士録」が五十音順に収録されています。[オ]の部に葛飾八幡宮に歌碑のある歌手の岡晴夫さんが市川市の住所で掲載されています。

『千葉県の先覚』 (千葉県企画部県民課 1973) 【C10/C8】

千葉県の先覚85人が掲載されています。

『礎 郷土を創る人びと』 (地方自治調査会 1982) 【C10/C8】

各市町村別に地方自治において活躍した人々が生地・年齢・経歴・趣味・家庭の順に列挙されています。市川市の部分はp. 25～268です。

『市川市居住各界人名簿』 (市川市芸術文化団体協議会事務局) 【書庫】

1990年に発行された「市川市居住各界人名簿」から著者索引のみ複製したものです。

『ミニコミ紙かわらば〜ん連載 いちかわの人』 (ワイ・エヌ・シー 2012) 【I/C8】

ミニコミ紙「かわらば〜ん」に2001年から2012年に掲載された88名の市川の人をまとめた1冊です。

3. 特定の分野でさがす

『ちば人国記 1～3』(毎日新聞社 1988-1990)【C10/C8/1-3】

全3冊で、[1]が経済 野球編、[2]が芸術 政治(名鑑・選挙データ付)編、[3]が教育・文化編です。掲載人数は多くありませんが、掲載された人物については、一人3ページほど紹介されています。

『光芒の人 千葉県人物事典 1文化編 2政治編』石井暉二/著(ぎょうせい 1990)【C10/C8/1-2】

全2冊で、1が文化編、巻末に「千葉県明治文化人事典」が掲載されています。2は政治編で、千葉県選出の衆議院議員(明治23年～平成2年)、参議院議員(昭和22年～平成元年)の当選者一覧が掲載されています。人名索引があります。

『千葉県人物・人材情報リスト 全2巻』(日外アソシエーツ 2002-2025)【C10/C8】※一部書庫

現在活躍中の人物を中心に、物故者および在日外国人も含めたあらゆる分野の知名人を都道府県別に収録した人材情報リストの千葉県版です。活躍分野ごとに人名の50音順に配列し、職業・肩書・生年月日・没年月日・経歴などを記載しています。中央図書館では、2002, 2011, 2015, 2019, 2025年版を所蔵しています。

政治・行政

『千葉県議員名鑑』(房総出版協会 1933)【書庫】

東葛飾郡の町村の部で、昭和8年の町村長及び町村会議員について掲載があります。

『千葉県議会史 議員名鑑』(千葉県議会 1985, 1999)【C10/H2】

1985年刊行の初版は、明治12年3月第1回県会議員選挙から、昭和58年4月選挙までに当選した県議会議員(県会議員)882人について主な経歴や業績等を収録。1999年刊行の第2版は、昭和22年以4月以降平成11年までの県議会議員(県会議員)392名を収録。どちらも巻末に市町村別人名索引があります。

教育

『市川市の教育』(市川市教育委員会)【I/Q2】

毎年刊行されている『市川市の教育』には、市立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の校長名、幼稚園長名、市川市内の県立高校、私立高校・中学校・小学校・特別支援学校・各種学校の校長名、私立幼稚園・こども園の園長名の記載があります。

『千葉県の教育に灯をかけた人々 第1～5巻』(千葉県教育会館維持財団文化事業部 1989-1992)【C10/Q0/1-5】

千葉県総合教育センター発行の『千葉教育』に連載された人物が289名掲載されています。明治以降、千葉県の教育にたずさわった人物です。索引はありません。

医学

『資料の広場 No.8 シリーズ千葉県の人1：医学』(千葉県立中央図書館 1977)【C10/C8/1】

近世以前の千葉県ゆかりの医学関連の人物が掲載されています。

産業

『浦の曙 行徳小史/海苔の興り』遠藤正道/著(市川新聞社 1982)【I/L3】

行徳・南行徳の塩業や海苔産業に携わった、各家や代表的な人物についての記述があります。南行徳出身の郷土史家が調査した資料です。

芸術

『房総書人名鑑』(千葉県書道協会房総書人名鑑刊行会 1967)【C10/V2】

1967年刊行時の現代作家の経歴、顔写真と作品を紹介しているほか、没年が明治以降の物故作家名、没年、出身地、著書等が掲載されています。

『千葉県美術家名鑑』(千葉日報社 2005)【C10/V0】

2005年刊行当時現役で活躍している美術家を日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの7部門に分けて経歴と作品を紹介しています。

文学

『市川の文学』(市川市教育委員会 1982)【I/W0】

市川市を描いた作家とその作品の一部を万葉集の古えから現代までの百余名掲載しています。

『市川の文学 詩歌編・散文編』(市川市文学プラザ 2011・2012)【I/W0・W1】

市川ゆかりの文人による市川言及箇所のある作品が掲載されており、作家の略歴もまとめられています。現在、詩歌編・散文編が刊行されています。

『資料の広場 No.11 房総の短歌・歌人』(千葉県立中央図書館 1979)【C10/W1】

万葉期以降現代に至る房総出身の物故歌人名が掲載されています。

★WEB「市川ゆかりの作家」(<https://www.city.ichikawa.lg.jp/site/library/4611.html>) (2026.3 確認)

市川市中央図書館では、図書館 Web サイトに「市川ゆかりの作家」として、市川市ゆかりの人とその著作物・評伝をまとめています。

図書館では皆様の調べ物や課題解決のために様々なお手伝いをしています。調べ方がわからない時は遠慮なくお問い合わせください。また、図書館のホームページからもお問い合わせいただけます。

お問い合わせ：市川市中央図書館 047-320-3346